

《病院紹介》



（提供）大久保病院

1. 病院の歴史

大久保病院は明治12年（1879年）に伝染病専門病院として発足し、長い歴史を経て令和4年（2022年）に地方独立行政法人東京都立病院機構の一員として再出発しました。「大都市東京を医療で支える」という機構の理念のもと、地域医療支援病院として地域医療機関との連携を強化し、質の高い医療を提供しています。また、行政的医療や専門的な医療の充実にも努めています。

2. 特色

救急医療、腎医療、脳卒中医療、循環器医療、がん医療等に重点を置いた総合的な病院であり、東京都の区西部地域（新宿区・中野区・杉並区）を中心に、地域の中核病院として医療を提供しています。地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を強化し、地域の医療水準向上に取り組んでいます。

3. 主な医療

二次救急医療 / 腎医療 / 透析合併症 / 脳卒中医療 / 循環器医療 / がん医療

《病院の理念・基本方針》

理念

信頼と安心の医療で
地域を支えます

基本方針

- 患者さんの人格を尊重し、安全で質の高いチーム医療を実践します。
- 地域と一体となって、患者さんを支える医療を提供します。
- 優れた医療人の育成に努め、働きがいのある職場づくりを進めます。
- 良質な医療を継続して提供するため、健全な経営基盤の確立に努めます。